



【お問い合わせ】
可茂消防八百津出張所
☎ 43・0476

!! 暖房器具の取扱いにご注意を !!

寒い季節になりました。みなさんのお宅ではストーブを使用されていますか？
家の中に「火」を入れるということにもっと注意してください。ストーブ火災のほとんどは人災です。「ちょっとだから大丈夫」や「うっかり」をなくせば、安全に使用することができます。家族のためにも、自分のためにも、今一度、ストーブの使用方法をおさらいしてみましょう。

- ①ストーブが布団やカーテンに近くないですか？
- ②ストーブの上に洗濯物を干してないですか？
- ③灯油タンクの蓋が、きちんと閉まっていますか？
- ④外出、就寝前には必ず消火していますか？
- ⑤スプレー缶がストーブの近くにありませんか？
- ⑥火が着いたまま移動していませんか？
- ⑦ストーブにホコリが溜まっていませんか？
- ⑧耐震自動消火などの安全装置は付いていますか？



◎ 1時間に1～2回、換気をしましょう。

ストーブに限らず家庭用ファンヒーターなどの暖房器具は、換気せずに使用を続け、酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生する恐れがあります。
また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になる恐れがあります。

◎ 寝るときは必ず消火を！

睡眠中も暖房器具を付けたままにしたいところですが、ファンヒーターやストーブを付けたまま寝る事は危険です。睡眠中に一酸化炭素中毒で死亡したと見られる事故は後を絶ちません。不完全燃焼防止装置など、安全装置が完備されているとはいえ、全て機械に依存するのは危険です。自らの手で事故を防止する意味からも寝るときは必ず消火を確認してください。



高速道路特有の交通事故形態

高速道路は一般道路に比べてハイスピードで走行するため、一瞬の油断、判断ミスが交通事故につながり易く、さらに、ひとたび交通事故となれば重大事故に発展する可能性が極めて高いという特質があります。

1、追突事故

高速道路で一番多い事故は追突事故で、事故全体の約7割を占めています。その致死率は、一般道路に比べて格段に高くなっています。
追突事故防止のためには十分な車間距離を取ることと、一瞬たりとも脇見運転をしないことが大切です。



2、逆走事故

逆走事故とは、インターチェンジやサービスエリアから本線に逆方向へ進行し、順行車両と正面衝突する事故のことです。
逆走の原因のほとんどは、流入、流出車線を間違えた事によります。
標識や進行方向をしっかりと確認して、間違いのないようにしてください。



3、事故車両や故障車両への衝突事故

事故や故障のため本線車線や路肩に停止し、車外で修理などを行っている際に後続車両に衝突される事故のことです。
事故や故障でやむを得ず停止する場合は、停止表示器材の設置、ハザードランプの点灯等危険防止の措置を取った後、運転者、同乗者とも速やかにガードレールの外へ出るなど、速やかに安全な場所へ避難して救助を待ちましょう。